

オンライン試験の導入・運用でお悩みのご担当者さま向け

「IBT」で想定しておくべき不正行為やトラブルとは？

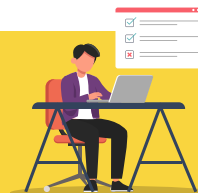
厳格性を保つ対処法を徹底解説！



IBT・CBT・PBTの違いとは?それぞれのメリットとデメリット

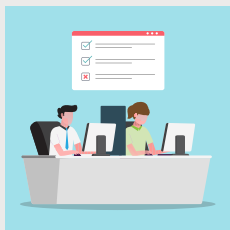
そもそも IBT (Internet Based Testing) とは?

IBTとは、その名の通りインターネットを活用した試験方式を指します。IBTではインターネット環境さえあれば受験者個人のPCやスマートフォンなどから受験することができます。場所に縛られずに試験を受けることができることがIBTのメリットです。



IBT・CBT・PBTの違いとは?

試験の種類には「IBT」以外にも「CBT」「PBT」という試験形式があります。それぞれの試験方式の違いは以下の通りです。



CBT (Computer Based Testing)

コンピュータを使った試験方式を指します。一般的に「テストセンター」と呼ばれる場所に受験者が足を運び、設置されているデバイスを使用して試験を受ける形式です。



PBT (Paper Based Testing)

紙ベースで行われる試験を指します。問題用紙が配られて、該当する答えを鉛筆で解答用紙に書くといった、最もイメージしやすい形式です。

IBTのメリットとデメリット

メリット

- **試験運営にかかるコストを削減**
会場費用や試験官などの人件費、試験用紙などの資材費を削減することができる
- **受験者の利便性**
場所に縛られずに試験を受けることができる
- **感染症対策**
非対面・非接触の試験を実施することができる
- **試験作成側のメリット**
試験問題はシステムで管理するため、直前まで変更することができる

デメリット

- **オンラインでの監視となるため、厳格性の部分でCBT、PBTよりも劣る**
- **受験環境によって接続不良などのネットワークトラブルの懸念がある**
- **受験者自身が受験環境を用意する必要がある**

このようにIBTにも懸念点はあります。当ホワイトペーパーでは、「IBTを導入した際に発生し得るトラブルとその解決策」について解説していきます。ぜひ参考にしてみてください。

想定できてる？ 試験時に起こり得る「不正行為」や「トラブル」

まずは、IBT で具体的にどのような状況が起こり得るのか見ていきましょう。

不正行為

01 なりすまし受験 / 替え玉受験

試験申込者と受験者が異なる「なりすまし受験」や「替え玉受験」と呼ばれるケースです。CBT や PBT 形式の試験同様、試験当日の本人確認が重要となります。

02 第三者の介入によるカンニング

受験者の近くに受験者以外の人物がいたり、インターネットを利用して外部の人物と連絡を取り合ったりすることでカンニングを行うケースです。

03 別のデバイスやメモによるカンニング

試験を受けるためのデバイス以外でカンニングを行うケースです。事前にカンニングペーパーを用意する場合もあるため、デバイス上に限った話ではありません。

04 試験問題の流出

同じ内容の試験を複数日程で行う場合、先に受けた受験者が問題を周囲へ教えるケースです。SNS によって多くの方へ流出してしまう危険性もあります。

受験する際のトラブル

01 接続不良のトラブル

受験者自身のデバイスやインターネット回線を使用するため、接続不良が起こってしまう可能性があります。

具体例

- 設定が適切ではなく音声が届かない
- 回線が重いため途中で切れてしまう

02 設定が上手くいかないなどのトラブル

設定が上手くいかず戸惑ってしまう受験者も少なくありません。

具体例

- 音声や画面の共有方法が上手くいかない
- カメラを ON にする方法が分からない

03 受験場所によるトラブル

自宅以外の場所でも受験をすることができるため、受験場所に左右される可能性があります。

具体例

- カフェや公共のスペースで受験する場合、周囲の騒音により試験に影響が出てしまう

このような「不正行為」や「トラブル」に対して、回避・対処する方法を次のスライドからご紹介します。

IBT試験で起こり得る不正行為への対応策①

ここでは、IBT 試験で起こり得る「不正行為」への対応策についてご説明いたします。

対応策 01

失格や注意の基準を明確にする

受験者のどのような行為が失格や注意に該当するのか、「不正」と判断する基準を明確にしておきましょう。
また、試験官が異なることで生じる不平等を解消するためにも、「不正の基準」を明確にしておくことは非常に重要といえます。

監視基準の例

- ○○をしたら即失格
- 注意を○回行っても改善されなかったら失格
- 接続が切れて○分たったら失格

注意する主な項目

- 不自然に視線がカメラから外れる
- 周囲に人の声が聞こえる
- 何かメモを取っている
- 離席しようとしている

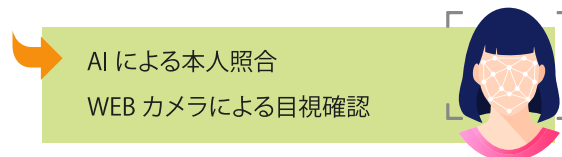
対応策 02

試験直前に本人確認を実施する

試験前、申込者と受験者が一致しているか確認し、なりすましを防ぎます。

確認の方法

- 顔写真付き身分証を提示させることで容姿と事前登録情報の照合を行う。



対応策 03

受験者ごとに問題を変える

受験者ごとに出题する試験問題を変えると、問題が流出してもカンニングにつながる可能性を抑えることができます。

対策の例

- 問題をランダムで出题する。
- 日程や時間ごとに問題を変更する

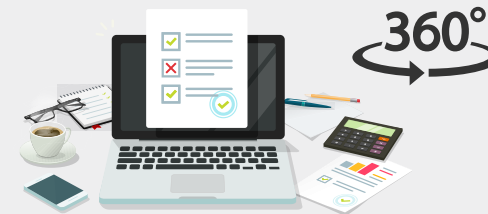
対応策 04

周辺やデバイスの確認を行う

受験前にデバイスの周辺環境やデバイス内の別タブのチェックを行いましょう。パソコン画面をマルチディスプレイで拡張し、テスト画面外のディスプレイでインターネット検索する方法も考えられます。

確認の方法

- カメラを360°動かしてもらい、周囲の状況を確認する
- 机の周辺を映してもらい、不正につながる情報がないか確認する
- 画面の共有方法で確認する
(全画面共有やウィンドウ共有)



IBT試験で起こり得る不正行為への対応策②

対応策
05

AI・有人・録画にて監視を行う

IBTでは試験官が受験者を直接監視することができないため、AI・有人・録画などの監視方法が一般的です。試験にあった方法を選択しましょう。

① AIによる不正監視を行う

あらかじめ「不正行為」にあたるパターンをAIへ学習させておき、受験者が登録したパターンに合致するような行為をした場合には、アラートを出す方法です。

メリット

- ▶ 試験官の人数を削減できるため、コストを抑えられる。
また、不正判定の基準を平等にすることができる。

デメリット

- ▶ AIの精度によってチェックできる範囲に限界がある。

② リアルタイムで有人監視を行う

受験者の様子を試験官がリアルタイムで監視する方法です。不審な行為があった場合には、チャットや音声で試験官から直接注意をすることができます。

メリット

- ▶ 人が見ているという点で心理的に抑止力が高い。その場で警告を出すことができるため素早い対応ができる。

デメリット

- ▶ 人件費がかかる。
また、試験官の質を担保するための教育が必要。

③ 本人の様子と画面を録画する

試験中の受験者本人の様子と、操作しているデバイス画面を録画しておき、後日不正行為がないかチェックする方法です。

メリット

- ▶ 不正行為のチェックが属人的になりにくい。
不正行為の証跡を残すことができる。

デメリット

- ▶ 試験当日に監視を行わないので、不正行為の発生自体を抑制することはできない。

④ 試験以外のアプリの起動を制御する

試験中、他のアプリケーションの使用を制限する機能が搭載されたシステムを使う方法です。

メリット

- ▶ システム的に不正行為を抑制することができる。

デメリット

- ▶ 試験システム自体に機能が搭載されている必要がある。

ご紹介した4つの不正行為への対応策のうち、どの手段をとっても「何かしらの方法で、不正行為を監視している」ことを受験者へ伝えるようにしましょう。
受験者に「監視されている意識」を芽生えさせることが、不正行為の抑制となります。

試験の際に起こり得るトラブルの対応策

次に IBT で起こり得るトラブルについての対応策をご紹介します。

対応策 01 同時接続人数を踏まえた環境構築

同時に受験する人数が多くなるほど、サーバーへの負荷は大きくなることが想定されます。

そのため、同時受験の規模に合わせた環境を整える必要があります。

対応策 02 接続不良の際の対応を 事前に決めておく

万が一、接続不良が起こってしまった場合に、「試験を延期にする」「失格にする」「良好になり次第、開始する」など、対応を決めておく必要があります。

また、試験続行が不可能になった場合を想定して「受験日の振り替え」や「受験費用の返金」などを検討しておくことも重要です。

対応策 03 事前に受験可能な場所を指定する

「自宅でしか受験できないのか」「自宅以外のカフェなどでも受験できるのか」など、受験場所として認めるかどうかを受験者に知らせておきましょう。

また、受験可能な場所以外で試験を行っていることが発覚した場合の対応を注意書きに明記しておくことで、トラブルの未然防止にもなります。

対応策 04 推奨環境の提示 / 接続テストや操作説明を実施

Windows や MacOS などの推奨 OS がある場合や非推奨のデバイスがある場合には、あらかじめ受験者に案内しておく必要があります。そのうえで、受験者のインターネット環境やアプリケーションのバージョンに問題がないかを確かめるために接続テストを実施するとより確実です。

PC の使い方に慣れていない受験者を想定し、試験前の準備から試験終了までの操作方法の手順を案内しておくことも有効です。

対応策 05 試験当日、操作方法が分からない方やトラブルに対応するための 担当（担当チーム）を設ける

試験官とは別に操作説明やトラブル対応の担当者あるいはチームを設けておくと、試験当日に円滑な対応ができます。トラブルが起こった際の問い合わせ先は、事前に受験者へ提示しておくことで、受験者も安心して試験を受けることができます。



起こり得る事態にしっかり備えて、適切に対処しましょう！

最後に不正行為やトラブルの種類とその対処法について、下記の表でまとめさせていただきます。

不正行為	不正行為の対応策	トラブル	受験する際のトラブルの対応策
なりすまし受験	失格や注意の基準を明確にする	受験者の 接続不良が起こる	同時接続人数を踏まえて検討しておく
	試験直前に本人確認を実施する		接続不良の際の対応策を決めておく
カンニング行為	失格や注意の基準を明確にする	設定が上手くいかない	事前に接続テストやレクチャーを実施する
	受験者ごとに問題を変える		試験当日、設定が上手くできない受験者やトラブルに対応するための担当チームを設ける
	周辺やデバイスの確認を必須にさせる		
	AI・有人・録画にて監視を行う	受験場所によるトラブル	事前に受験可能な場所を指定する

これまで IBT を導入する際に起こり得る不正行為やトラブルについてご紹介しました。事前に対処しておくことで厳格性の担保やトラブルへのスムーズな対処を実現できます。しかし、IBT を導入するには上記以外にも様々な懸念点があります。

例えば、以下のような項目が挙げられます。

- 問い合わせへの対応や試験官のリソースが足りていない…
- 社内、協会内に試験運営のノウハウが蓄積できておらず、当日の運営が心配…
- 早期にオンライン化を推進したいが、何から手を付ければよいか分からない…
- 他の検定試験がどのように実施しているのか気になる…

そんな場合には、試験運営をまるごとアウトソースしてみてもいかがでしょうか。

業務をアウトソースすることで、プロの試験運営ノウハウを最大限活用しつつ、面倒な事務作業から解放され、本来行いたい業務に多くの時間を割くことが可能になります。

パーソルワークスデザインでは IBT サービスを提供しており、IBT の導入から当日の試験運営まで幅広い業務に対応することが可能です。

パーソルワークスデザインの IBT サービスについては、次のスライドで詳しくご紹介いたします！

パーソルワークスデザインの IBT サービス

▼ より詳しくご説明しています。詳しくはこちら



ここが違う! パーソルワークスデザインの IBT サービスの特徴

AI 監視システムと人によるリアルタイム監視の組み合わせで ご要望に合わせた「厳格性」を担保

AI 搭載の IBT 監視システムでは、AI による不正監視や顔認証、デバイスの機能制限を行います。こちらに人によるリアルタイム監視を組み合わせることで受験者の不正なふるまいのアラートに対して、リアルタイムにチャットで受験者に注意するといった対応も可能です。どこまで厳格性を求めるのかは、試験の性質やご予算に合わせてご相談の上、最適な組合せをご提案させていただきます。

試験前～試験後までをトータルサポート!

受験申込のコールセンターサポートや配慮が必要な受験者への個別対応など、お客様のご要望に応じてプランをカスタマイズすることが可能です。
また、紙での各種証明書作成・発送や試験結果分析レポートの作成など、蓄積された PBT の運用ノウハウを活用し、IBT 運用をトータルサポートいたします。

実績紹介 一般社団法人日本免震構造協会様

導入前の悩み・課題

- 400 名～ 500 名を集めて行うため、会場での試験運営が大きな負担に。
- 8 人～ 9 人の委員で、3 日かけて採点業務を行う。

IBT サービスを導入

- 本人確認や監視を「直接、人の目で行う」という点で興味をお持ちに。
- 導入して 2 年目になると、運用上の課題がほぼ解決。

導入後得られた成果

- 感染症対策やユーザーの利便性向上などさまざまなメリットがあった。
- 採点業務は「3 人で、半日以下で終わらせる」ことができるように。

一般社団法人日本免震構造協会様 : <https://www.jssi.or.jp/>

特 別 な ご 案 内

当ホワイトペーパーをダウンロードしていただいた方限定で、
無料相談会を開催します。

パーソルワークスデザインでは、当ホワイトペーパーではお答えできなかった
「IBT 導入」についてのお悩みや疑問や、当社の「IBT サービス」についてのご質問にお答えいたします。

IBT 管理ツールのデモ画面をご覧ください。ことも可能ですので、お気軽にご相談ください。

参加 方法

- 1 資料ダウンロード時にご入力頂いたメールアドレス宛に、個別相談会のご案内をお送りしております。
- 2 ご参加可能なお日にちを複数ご記載の上、ご案内メールに返信してください。
- 3 日程調整ができ次第、担当よりご連絡をいたします。

ご不明点・その他お問い合わせはこちら

パーソルワークスデザイン株式会社
お問い合わせ窓口
820454@persol.co.jp





PERSOL

パーソル ワークスデザイン

2022 年 12 月発行
パーソルワークスデザイン株式会社
東京都豊島区池袋 2-65-18 池袋 WEST ビル
<https://www.persol-wd.co.jp/>

© PERSOL WORKS DESIGN CO., LTD. All Rights Reserved.